

平成30年 生産性向上支援訓練利用者の声



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構静岡支部
静岡職業能力開発促進センター
ポリテクセンター静岡

株式会社山西製作所

- ・所在地: 静岡県牧之原市
- ・従業員数: 19人
- ・事業内容: 金属精密切削加工, 研削加工

<利用した訓練>

- ・訓練コース名「品質管理基本」
- ・訓練実施時期 平成30年4月～5月



代表取締役社長 紅林さま



<事業主の声>

Q: 訓練を利用したきっかけについて、教えてください。

A: 取引先から、受講に掛かる費用が安く、事業所のニーズを踏まえたポイントのテーマで受講できるという生産性向上支援訓練の情報を知り、課題解決の一環として同訓練に興味を持ち、ポリテクセンター静岡に相談しました。当社では、従業員数が19名と小規模であることから、就業時間中にライン操業に負担をかけずに自社内で受講できる点は大きな魅力でした。また、当社の課題解決に特化した内容であったということも大きな要因で、訓練の利用を決めました。

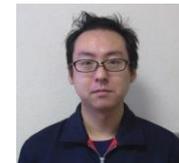
Q: 訓練を利用した感想と、現場でどのように活用されているか、お聞かせください。

A: 受講した結果、緻密な管理をするなど現場での意識変化が見られ、一定の成果が得られたと思います。具体的には新規の製品のライン立ち上がり時に今回学んだQCスキルを活かしたことで、問題点の発見・解決につながった。現在、受注を受けている案件についても、同手法を使ってデータを解析し報告資料を作っているところである。新規の受注時には製品の精度検証結果のデータを取引先に提出することが社内では定着し、取引先からの信頼度も増しました。

<受講者の声>

Q: 訓練を受講した感想と今後の抱負をお聞かせください。

A: 実際の現場のデータを使ってQC七つ道具の手法を学びました。場面毎のQCスキルの使い分けを身に着ける実践的なカリキュラム内容であり、分析手法の使い分けが自分なりに習得できたと思います。実際、習得した手法を用いて取引先に製品データの解析結果を提供したところ、高い評価を得られ自信に繋がりました。今後は、より発展的な品質管理手法を身につけ、取引先に喜ばれる仕事をしていきたいです。



受講者さま